

国労

蘇我運輸区分会ニュース

鉄道業務はチームワーク！・のはず

突然始まった？

蘇我駅窓口の閉鎖

私たちの玄関口である蘇

我駅の改札窓口が20日早朝

より閉鎖となりました。

写真でも分かるよう

に窓ガラスはおろか、中



のカーテンまで閉められ、今までの明るい駅風景から考えたら、暗く異様な雰囲気であります。

利用者はそれ以上に不快感があると思います。

閉められた窓には「御用の方は、インターホンをご利用下さい」とありますが、それさえもためらってしまふような「拒絶」の壁を感じてしまいます。

こんなこととして一方で、声かけサポートやらハートフルなんちゃらやら、お客様第一とか声高に謳って

いるとは・・・すごい会社であります。

私たちが乗務を開始する経路で、駅改札脇の社員通路を通るその時、何を思っわけでもなく、

目線は自然と駅の窓口へ行き、多分安心感みだいなものを感じていたのではないかと思います。

（それがなくなったことで初めて気付きました）

駅社員、乗務員、施設社員、その他大勢の現場で働く社員の連携、チームワークによって、鉄道業務が成り立っていることを考えると、当区では

全く通達されず、突然こういった事態になったのは残念でなりません。

「駅は駅の」「車掌は車掌の」仕事をしていれば良いというものでは絶対ないはずですよ。お互いに信頼しあい、助け合うことで、利用者にとって

の「安心・安全」が生まれるのだと思います。支社からの指示なので、蘇我駅社員には何の責任もありませんが、非常にかかりきりな出来事でした。これも人減らし合理化の手段ではありませんが、利用者、現場社員を犠牲にするやり方は絶対許されません！

たかがメンバー表、されどメンバー表・・・なのだ！！

今月26日から、各乗務員区で毎日出されてきたいわゆるメンバー表（その日の出面と明け番者全員が行路別に記載されているもの）が廃止となりました。理由は「個人情報に抵触するから」ということらしいのですが、全職場の全乗務員が疑問に思い、一方向的な通達に怒りを訴えています。

特に、車掌の特急乗務は、運転担当の他、改札担当数名によるチームワークでの仕事となっております。その中のチーフ担当が割り振り（誰々が何号車担当・・・等々）の指示を出すわけですが、それは全てこのメンバー表頼みとなっております。それがなくなることで、明らかに業務に支障が出てしまいます。（近い将来、勤務表もなくなる？・・・では尚更です）

何処の職場もこの形で、長い年月やってきてるわけで、乗務員同士が納得し合っていれば何ら問題はないはず。問題なのは、現場の事情も知らずに、こんな余計なことまで口出ししてくる会社側の対応だと思えます。（他にやることないんですか？）

マニュアル至上主義で、臨機応変とかいう言葉は、この会社で存在しなくなるのかも・・・？！

次回執行委員会・8月10日（火）

2019年7月



2019年7月